

TEE プローブケアガイド

ステップ 1 の 2: プローブを洗浄する

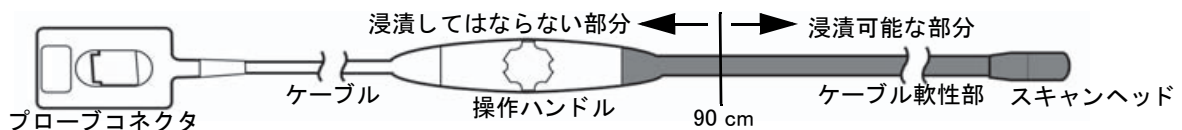
警告

・ 必要に応じて、適切な個人用保護具 (PPE) を着用してください。

・ 洗浄手順の一部を飛ばしたり、省略しないでください。

注意

- ・ プローブは体液が付着した状態で放置しないでください。必ず使用後直ちにプローブを洗浄してください。
- ・ ケーブル軟性部を直径 20 cm 以下に湾曲しないでください。
- ・ アルコールや漂白剤等の適合性が承認されていない洗浄剤 (例えば Sani-Cloth) は使用しないでください。
- ・ 操作ハンドル、プローブケーブル、およびコネクタ部は、液体を吹き付けたり、液体に浸漬しないでください。コネクタ部は濡れないよう注意してください。
- ・ プローブは、洗浄剤製造元が推奨する浸漬時間より長く浸漬しないでください。

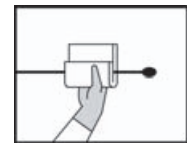


酵素系洗浄剤

洗浄剤	濃度・温度	浸漬時間
Prolystica	1 - 5%、33-43 °Cにて、	2 ~ 5 分、浸漬直後に水で洗い流すこと
Hexanios G+R	0.5%、45 °C未満にて	15 分
Aniosyme DD1	0.5%、38 °Cにて	15 分
Salvanios pH7	0.5%、38 °Cにて	15 分
Cidezyme/Enzol	1 - 10%、38 °Cにて	1 ~ 3 分

A

プローブを患者から抜き取ったら直ちに、プローブケーブル、操作ハンドル、ケーブル軟性部、およびスキャンヘッドを含めプローブ全体を水で湿らせた布またはワイプで**清拭**します。目に見える生物由来物質を完全に除去してください。ただし、コネクタ部は拭かないでください。



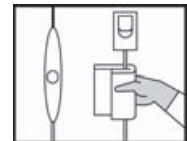
B

洗浄作業台にて、洗浄剤の使用期限が切れていないことを確認します。次に洗浄溶液の濃度および温度を確認します。洗浄溶液に浸らないように、操作ハンドルを固定します。上の「酵素系洗浄剤」表のいずれかを選択し、その指定濃度に従って調製した溶液でプラスチック製の水槽を満たし、指定の浸漬時間 (上表)、ケーブル軟性部を**浸漬**します。酵素系洗浄剤に浸した柔らかいブラシまたは単回使用の内視鏡用スポンジで、ケーブル軟性部を最低3分間**こすり洗い**します。洗浄剤製造元の注意事項および取扱説明に従ってください。



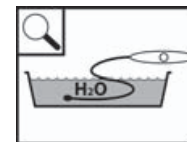
C

ケーブル軟性部を浸漬する間、「酵素系洗浄剤」表に記載されている洗浄剤のいずれかで清潔なリントフリークロス (無塵布) または単回使用の内視鏡用スポンジを湿らせ、操作ハンドルおよびプローブケーブルを**清拭**します。操作ハンドルおよびプローブケーブルの表面に残留した洗浄剤は、水で湿らせた清潔なリントフリークロスまたは単回使用の内視鏡用スポンジで拭き取ります。コネクタは拭かないでください。



D

大量の清潔なぬるま湯 (約 8 リットル) の中で、最低3分間ケーブル軟性部をすすぎ、残留した洗浄剤を**すすぎ落とし**ます。残留した洗浄剤はプローブの損傷の原因になる恐れがあります。スキャンヘッドおよびケーブル軟性部に生物由来物質が付着していないことを目視で**点検**します。生物由来物質が付着している場合は、同洗浄手順を繰り返します。

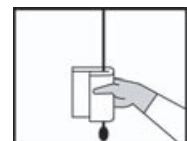


E

バイトホール検出**試験**を行います。漏れ電流試験およびバイトホール検出試験については、SonoSite TEE プローブユーザーガイドを参照してください。

プローブを清潔なリントフリークロスで拭いて乾燥します。

プローブおよびケーブルを**点検**し、液体が浸入する可能性のあるひび割れや亀裂等の損傷がないことを確認します。損傷がある場合は使用を中止してください。



消毒手順は次ページをご参照ください。

TEE プローブケアガイド

ステップ 2 の 2: プローブを消毒する

警告

- ・ 必要に応じて、適切な個人用保護具 (PPE) を着用してください。
- ・ プローブに化学消毒剤が残留していると、患者が負傷する恐れがあります。
- ・ 消毒手順の一部を飛ばしたり、省略しないでください。

注意

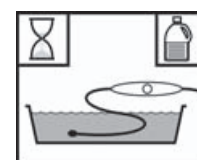
- ・ ケーブル軟性部を直径 20 cm 以下に湾曲しないでください。
- ・ アルコールや漂白剤など適合性が認められていない消毒剤（例えば Sani-Cloth™）は使用しないでください。
- ・ プローブケーブル、コネクタ、および操作ハンドルは、液体に浸漬しないでください。
- ・ プローブは、消毒剤製造元が推奨する浸漬時間より長く浸漬しないでください。

承認された消毒剤および浸漬時間

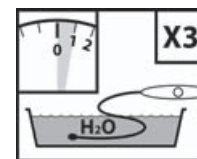
消毒剤	温度	浸漬時間
Anioxyde 1000	23 °C	15 分
Cidex	20 °C	45 分
Cidex OPA	25 °C	12 分
Korsolex extra	45 °C未満	15 分
Metricide	25 °C	45 分
Nu-Cidex	20 °C	15 分
PeraSafe	45 °C未満	15 分
Sekusept Aktiv	45 °C未満	15 分
TD-100 & TD-5	自動	自動
Tristel Generator Solution	自動	自動
Wavicide-01	24 °C	45 分

自動消毒装置を使用する場合は、製造元の取扱説明書に従ってください。用手消毒を行う場合は、以下の手順に従ってください。

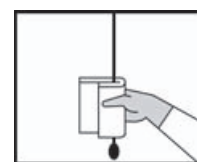
- A** 消毒作業台にて、消毒剤の使用期限が切れていないことを確認します。消毒剤の温度および濃度を確認します。消毒溶液に浸らないように、操作ハンドルを固定します。
- 消毒剤にケーブル軟性部を浸漬し**消毒**します。上の「適合性のある消毒剤および浸漬時間」表で指定されている浸漬時間、または消毒剤製造元が推奨する浸漬時間を超えて浸漬しないでください。
- 滅菌リントフリークロスまたは単回使用の内視鏡用スポンジを消毒剤で湿らせ、プローブケーブルおよび操作ハンドルを清拭し**消毒**します。



- B** プローブを大量の滅菌脱イオン水（約 8 リットル）に**最低 1 分間浸漬しすぎ洗い**します。すすぎに使用した水は**廃棄**します。すすぎの手順は**3 回繰り返**してください。
- 滅菌リントフリークロスまたは単回使用の内視鏡用スポンジを滅菌水で湿らせ、プローブケーブルおよび操作ハンドルを清拭します。
- プローブに化学消毒剤が残留していると、患者が負傷する恐れがあります。



- C** プローブは、滅菌リントフリークロスで拭くか、医用空気で乾燥します。
- プローブおよびケーブルを**点検**し、液体が浸入する可能性のあるひび割れや亀裂等の損傷がないことを確認します。損傷がある場合は使用を中止してください。
- 貴医療機関の方針または SonoSite TEE プローブ ユーザーガイドに記載の手順に従って、プローブを貴医療機関の方針または「SonoSite TEE プローブ ユーザーガイド」に記載の手順に従って、プローブを収納してください。してください。



洗浄、消毒、持ち運び・輸送、保管に関する詳細は SonoSite TEE プローブユーザーガイドを参照してください。

SONOSITE および SONOSITE ロゴは、複数の法域において FUJIFILM SonoSite, Inc. の登録商標または商標です。「Value from Innovation」は FUJIFILM Holdings America Corporation の商標です。

その他の商標はそれぞれ所有者の財産です。

Copyright © 2016 FUJIFILM SonoSite, Inc. All rights reserved.





SonoSite

選任製造販売業者：

富士フイルムメディカル株式会社
〒106-003 東京都港区西麻布2-26-30
TEL: 03 (6418) 7190

外国指定管理医療機器製造等事業者：

FUJIFILM SonoSite, Inc. (米国)

一般的名称	汎用超音波画像診断装置 (40761000)
医療機器のクラス	管理医療機器、特定保守管理医療機器
販売名	SonoSite X-Porte シリーズ用 TEExp プローブ
医療機器認証番号	225ADBZI00146000
販売名	SonoSite MicroMaxx シリーズ用 TEEx/8-3 プローブ
医療機器認証番号	218ADBZI00032000

P07611-04

